

災害に備えて

日野町総合防災訓練を開催

9月8日(日)、西大路小学校と西大路公民館を会場に、鈴鹿西縁断層帯を震源とする大規模地震の発生を想定した日野町総合防災訓練を実施しました。

被害情報の収集・伝達の訓練や災害対策本部の設置、指定避難所の開設、地域住民の避難訓練や避難所運営訓練などを行いました。

西大路小学校グラウンドでは、建設工業会による土のう作成訓練、日野消防署による被災車両からの救助訓練、日野町と応援協定を締結している関係機関からの物資輸送訓練などを行いました。

西大路小学校体育館では、日野町防災士連絡会の指導による避難所運営訓練や避難所運営をする中で想定される課題をクロスロードゲームで意見を交わしました。その後、株式会社オカイチによるドローン展示および模擬飛行が行われました。また、西大路公民館では、防災食の試食や応援物資受入訓練・高齢者等避難などの訓練が行われました。

今年度は、能登半島地震の教訓を得て住民参加型の訓練を多く実施し、たくさんの方にご参加いただきました。

訓練にご参加いただきました地域住民・関係機関のみなさまありがとうございました。



避難所運営訓練の様子



救助訓練の様子

近江日野商人の商法と

そのこころを世界へ！

江戸時代、日野町は日野^{ひの}梔^し・日野合^{ひのくわ}の産地としてにぎわい、産業の町として栄えました。人々は特産品を携えて北関東や東海地方を行商し、蓄財すると行商先に店を構え、近江日野商人として大成し、日野町発展の礎を築きました。

私たちの先達は、「陰徳善事^{いんとくぜんじ}」「三万よし」の商業哲学を編み出し、勤勉・質素倹約・社会貢献を大切にしている風風は今も町に根付いています。また、近江日野商人は「日野大当番仲間^{おひのどうばんなかま}」と呼ばれる商人組合を組織し、組合員が安心して商売できる先進的なシステムを作り上げました。

町の誇りである近江日野商人を顕彰し、彼らが築き上げた商人文化を未来へ継承するとともに、その価値と魅力を日野町から全国そして世界へ発信する取り組みを進めています。

近江日野商人サミット 2024開催

と き：11月15日(金)

ところ：東京池袋 グレースバリ池袋本店

2月5日を「近江日野商人の日」 として記念日認定

日野大当番仲間は、業種を超え地縁で結ばれた組合で、組合員であれば誰もが利用できる指定の旅籠や流通業者網を整備し、組合員の商業を互いに支えあいました。

毎年2月5日を「大寄り合い」の日とし、組合員は羽織袴を着して町内の寺院に集まり、情報共有や課題・要望の協議を行いました。

このことから、大寄り合いが開催された2月5日を「近江日野商人の日」として日本記念日協会に登録されました。

◆問い合わせ先 商工観光課 商工観光担当 ☎ 0748-52-6562

◆問い合わせ先 総務課 地域防災室 ☎ 0748-52-6500